

# 運営推進会議 会議録

園長	次長	係長	主任

(定例) ・ 臨時)

令和 5年 4月 19日(水曜日)	司会	記録
午前 (午後) 14時00分 ~ 午前 (午後) 15時 30分	斎藤係長	松澤

<p>【出席者】</p> <p>菊入園長 長谷川義弘様 村田みさ子様 鈴木敏和様 高岡文月様                  星人美様 雑賀真澄様 桑野園長 長井園長 斎藤係長 松澤</p> <p style="text-align: right;">計 11名</p>	<p>【欠席者】</p> <p>酒井明彦様</p>
--	---------------------------

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
1 あいさつ	菊入園長より。小規模多機能型施設は法人で初めての設立でありチャレンジである。また五泉市の指定を受けて五泉市の方を対象に行うサービスであり、地域のニーズに合わせてサービスを実施していくことが重要。この会議を通して地域のニーズの確認をしたり、新たな視点からアドバイスやご意見を受けてより良いサービスへと還元していくことを目的としている。これからご協力をお願いしたい。
2 委員自己紹介	別紙参照 今回は利用者家族代表の酒井明彦様が欠席となる
3 令和5年会議開催予定	別紙参照
4 利用者の現況報告	別紙参照。質問:宿泊のカウント方法について。斎藤係長より:宿泊した日を1とカウントする。例えば1泊2日なカウントは1。2泊3日であれば2とカウント。
5 活動状況報告	別紙参照 R5.3.1 吉清水開所。オープニングセレモニー実施 R5.3.30 水芭蕉公園外出 ・近所の水芭蕉を見るため外出。見学にこられた地域の方との会話を楽しまれた。 R5.4.1～ お花見散歩 ・敷地内周辺の桜を見ながら散歩。春の日差しと桜の景色を笑顔で楽しんでいた。 R5.4.4 新江川へお花見外出 ・ご利用者様より桜の思い出を聞いた際に出てきた場所へお花見外出。 満開の桜を見ながら思いで話にも花が咲いた。

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
6 その他 意見交換	<p>桑野園長より。納涼祭について。例年は8月の第4、5土曜日に実施。近年は感染症対応により実施できていない。今年の開催についてはこれから協議し判断する。やぐらの建設から住民と協力して行っており、歴史ある地域行事となっている。きなせや祭の開催も判断材料となるが、5月頃には決定する見込み。</p> <p>また地域合同防災訓練をいずみの里、第2いずみ里の主体で例年実施している。幸老吉清水も地域の活動として参加をしてほしい。菊入園長より:ぜひ参加させていただきたい。それとは別に吉清水でも地域合同の避難訓練を予定している。</p> <p>高齢福祉課高岡様より。小規模多機能居宅介護は地域と密接に関わる必要がある。今後は地域の行事への参加に加えいずみの里、川東小学校との交流などを積極的に計画したり、地域の行事に職員を派遣するなどして、交流を図ってほしい。また今回吉清水はPRが非常に上手であると感じた。五泉市としても重要な事業であると感じているが、料金負担が大きくなる部分を取り上げられることが多いと感じている。これからも、小規模多機能型居宅介護施設の機能を上手く発信して行って欲しい。</p> <p>五泉地域包括支援センター星様より。内覧会の時に記録ソフトなどの導入について説明があったが、実際の使用感はどうなのか。また介護人材確保についてはどのように行っているのか。担当松澤より:記録ソフトについてはいつでも記録が出来ることで業務負担の軽減を実感しており、タイムリーな情報共有と記録時間の大幅な短縮につながっている。紙物での記録よりも業務負担は軽減したと感じている。</p> <p>民生委員長谷川様より。例えば家族が急に入院となった時に、空きがなければそもそも契約をして利用ということが出来ないのは分かった。ただ緊急時に対応出来ることは何かないのだろうか。菊入園長より:定員数を超えて契約を行い利用することはできない。ただ法人内の事業所と連携しながら、その方の状況にあった福祉サービスを提案していくことはできると思う。困ったことがあれば、相談をいただきたい。</p> <p>長井園長より。いわゆる連泊者はいるのか。また待機者の状況はどうか。齋藤係長:待機者は現在3~4名。サービス状況などをみながら調整している。連泊者は現在2名。うち1名は、季節が良くなれば家族在宅時には帰宅することを検討している。菊入園長:事業所として連泊している状況が健全であるとは考えていない。家族とも相談し在宅介護施設として機能できるよう努めていく。</p>

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
	<p>鈴木様より。幅では利用者がおらず地域の認識としては「新しいところできた」という程度である。これからどのような場所か分かってくれば、また何か声が上がってくるかもしれない。</p> <p>川東小学校校長の雑賀様より。これまでは菅名の里やリモートで笹団子作り、職員を講師として派遣することでの交流を行ってきた。総合学習という時間の中で福祉について学ぶ時間があるため、児童のこれからのためにも勉強になるような機会を積極的に設けていきたい。</p> <p>民生委員村田様より。自身も義母の在宅介護を経験し小規模多機能型居宅介護を利用していた。身近に同じ施設が出来たことについては心強い。理解を深めて少しでも皆さんの力になりたいと思う。</p>
<p><b>【 懸 案 事 項 】</b>  次回開催については6月21日。</p>	